

平成28年度教育事業

ボランティア養成研修兼自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業 「やる気！元気！ボランティア」

1 趣旨

- ・ ボランティア活動に必要な知識や技能の向上を図り、ボランティアとしての資質を高め、広く社会でボランティア活動に取り組める青少年を育成する。
- ・ 全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、子供の発達段階に応じて安全に活動が指導できる人材を養成する。

2 日程

- (1) 期 日 平成28年4月29日（金）～5月1日（日）【2泊3日】
- (2) 参加者 25名（大学生23名、専門学校生1名、社会人1名）
- (3) 研修内容及び講師

1日目 (4/29)	○受付 9:30、開講式 10:30 ○「心と体をほぐして仲間を作ろう♪」講師:交流の家 職員 ○「能登青少年交流の家って、どんなところ？」講師:交流の家 次長 河辺 誠二 ○「ボランティアってなあ～に？」講師:ボランティアセンター 鍋谷 桜子 ○「体験でたくましい子供を育てる」講師:金沢大学 教授 松本 謙一
2日目 (4/30)	○「自然体験活動の楽しさって？意義って？」講師:キープ協会 課長 鳥屋尾 健 ○「子供たちを理解するために必要なこと」講師:金沢星稜大学 教授 池田 幸應 ○「能登の活動を体験しよう♪野外炊飯編」講師:交流の家 職員 ○「子供たちの前に立つ前に…心構えや倫理観」講師:金沢星稜大学 教授 池田 幸應
3日目 (5/1)	○「安全に活動するために～救命救急法講習～」講師:日本赤十字社石川県支部指導員 ○「広がれ！のとボラのWA！」講師:先輩ボランティア、交流の家職員 ○閉講式 16:00、解散 16:30

3 成果と課題

- (1) アンケートによる事業評価

教育事業アンケートの満足度（「満足」と「やや満足」の評価割合）は、事業全体、プログラム、事業運営、職員の指導・助言や対応の4項目全てにおいて100%であった。また、事業全体については、84%の参加者から「満足」の評価を得ることができた。

<参加者の記述より>

- ・ 実際にボランティアに携わっている方々が、その魅力を教えてくださり、ボランティアの意義、やりがい、楽しさを学べて良かった。少しでもボランティアに関わりたくなった。
- ・ 自然体験活動の意義を感じることができ、体験活動には魅力があるなど感じた。
- ・ スタッフが、皆、いつも笑顔で親切、話やすくてよかった。

(2) 成果と課題

《成 果》

- ・ 金沢星稜大学池田先生やキープ協会職員など専門性の高い講師陣を迎え、NEAL事業を兼ねたボランティアセミナーを初年度として無事実施。新規NEAL登録者は24名であった。
- ・ 先輩ボランティアに全日程の事業運営に携わってもらったとともに、彼らに能登でのボランティア活動の紹介やボランティア活動を通して感じたことを話す時間を設けたことで、参加者にボランティアの魅力がより一層伝わった。
- ・ 全日程を通して、グループを意識した活動とした。また、各グループには法人ボランティアを1名以上配置し、先輩ボランティア2名が、常に、参加者と共に行動し、活動を支援した。その結果、休憩時間等も含めて、参加者同士が交流を深め、ボランティア活動に興味を示し、今後のボランティア活動への参加の可能性を感じさせる3日間となった。

《課 題》

- ・ 広報先について、例年と同様の箇所に加えて、金沢大学教育学類1・2年生への直接広報、及び近隣高等学校へのチラシ送付を実施したにもかかわらず、参加者数が少なかった。要因としては、①開催時期が1か月早かったことにより、十分な広報期間がとれなかったこと、②担当教官との連携不足により、大学単位互換受講生の人数が大きく減ったこと、が考えられる。次年度は、1泊2日を2回実施するボランティアセミナー兼NEAL事業とし、かつ、1回目のボランティアセミナーの開催を従来の5月下旬に戻すことで、参加者増を図る。また、県内大学及び近隣高等学校への直接広報を金沢大学以外にも増やすことで、参加者増を図る。
- ・ NEAL科目については、引き続き専門性の高い講師陣を迎える必要があることから、今年度の講師に囚われることなく、引き続き講師候補者のリストアップを行い、質の高い事業実施に努める。

